



# 今季初、インフルエンザで学級閉鎖です

仲町小では今週、2年2組が学級閉鎖になってしまいました。他の学年・クラスも今後一気に感染が広がるのではないかと心配しています。インフルエンザは、区内でも本校でもA・B同時に流行っています。

## ★今シーズンの傾向★

### 高い熱が出ない場合がある

「急に高い熱が出る」というインフルエンザ特有の症状があてはまらない場合もあるようです。腹痛や気持ち悪さなどという胃腸症状から欠席が始まったり、「咳が続く」「微熱」などで念のため受診し、インフルエンザと診断されたりするケースがあります。インフルエンザの報告の中には「ほとんど熱がなかった」という人もいました。症状が軽いため、インフルエンザと気がつかずにいる人もいます。

### 大流行をくいとめるためお願いしたいこと

- ☆体調不良の場合は熱がなくても無理して登校しないようにしてください。  
インフルエンザとわかる前に気持ち悪さや腹痛などを訴える子もいます。体調不良が続く場合や咳がひどい時などは、お医者さんで診てもらってください。
- ☆インフルエンザにかかった場合は、熱がさがっても出席停止の期間をしっかりと守って、他の人にうつさないようにしてください。
- ☆欠席の連絡は、症状を、インフルエンザの場合は‘A型’‘B型’もお知らせください。
- ☆引き続き手洗い・うがいの徹底をお願いします。
- ☆予防のためのマスク着用もおススメです。(必要な人はお家から持って来てくださいね)

## インフルエンザ Q&A

### Q. 受診のタイミングは？

A. 病院では「インフルエンザ迅速検査」を行います。検査結果は100%ではありません。検査のタイミングで陽性でも陰性になることがかなりあるようです。発症から7～12時間くらいの間が正解性が高いと言われており、早すぎても遅すぎても正確に出ないことがあるようです。「陰性」の場合でも周りの状況から考えてインフルエンザと診断され、抗インフルエンザ薬をもらったという話も聞きます。抗インフルエンザ薬は発症後48時間以内に飲むと効果が高いと言われてるので、目安は発症後7～48時間ということになるかもしれませんが、症状が重い時などは早めの受診をおすすめします。

### Q. どんな時に学級閉鎖になるの？基準は？

A. 「罹患率おおむね20%」で学級閉鎖を検討することになっていますが、これはあくまでも検討の基準です。学校では欠席者の状況や登校者の様子を校医の能登先生に相談し、ご指導を受けた上で学校長が学級閉鎖の判断をしています。同じ欠席者の数でも、休みの状況や登校者の様子、学年、発生の時期が週初めと終わりでは措置が違う場合があります。